

診療部

【腎臓内科】

『論文』

雑誌	名 :	Internal Medicine
題	名 :	Randomized Prospective Controlled Open-labeled Trial of Cyclosporine with/without Low-dose Oral Corticosteroids in Idiopathic Membranous Nephropathy in Adults with Nephrotic Syndrome
著	者 :	Joichi Usui, Kouichi Hirayama, Masaki Kobayashi, Satoshi Suzuki, Itaru Ebihara, Kenta Nishiki, Kaori Mase, Aki Hirayama, Chie Saito, Michihiro Goto, Akio Koyama, Kunihiro Yamagata
巻、ページ、年度 :		2025 Sep 1;64 (17) :2541-2548

『国際学会』

学開場演	会催	名 :	62th ERA Congress
		日 :	Jun4-7,2025
		所 :	Vienna, Austria
		題 :	40-year renal survival rate in patients with IgA nephropathy: Analysis of 1,121 patients at a single center
演		者 :	T.FUJII, S.SUZUKI, J.KOSHIZAKA, T.MATSUNAGA, N.YAMAUCHI, M.MORIMOTO, N.TERASAKI, H.TANAKA
学開場演	会催	名 :	World Congress of Nephrology (WCN26)
		日 :	Mar28-31,2026
		所 :	Yokohama, Japan
		題 :	Impact of maintaining proteinuria remission on renal prognosis in elderly patients with IgA nephropathy
演		者 :	Takayuki Fujii, Satoshi Suzuki, Takahiro Matsunaga, Junya Koshizaka, Nobuaki Yamauchi, Mayu Morimoto, Noriko Terasaki, Hiroaki Tanaka

『国内学会』

学開場演	会催	名 :	第 68 回日本腎臓学会学術総会
		日 :	2025 年 6 月 20 日～ 22 日
		所 :	神奈川県横浜市
		題 :	高齢 IgA 腎症の腎予後の検討
演		者 :	藤井隆之、鈴木理志、松永宇広、山内伸章、越坂純也、森本真有、寺崎紀子、田中宏明
学開場演	会催	名 :	第 70 回日本透析医学会学術集会・総会
		日 :	2025 年 6 月 27 日～ 29 日
		所 :	大阪府大阪市
		題 :	透析導入 3 年以内の Ca 感受性受容体作動薬の開始は生命予後を改善させる
演		者 :	藤井隆之、越坂純也、山内伸章、松永宇広、森本真有、寺崎紀子、田中宏明、鈴木理志

学 開 場 演 演	会 催	名： 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 日： 2025 年 6 月 27 日～ 29 日 所： 大阪府大阪市 題： 高リン血症を呈する血液透析患者に対する tenapanor の使用経験 者： 田中宏明、松永宇広、森本真有、越坂純也、山内伸章、寺崎紀子、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 日： 2025 年 6 月 27 日～ 29 日 所： 大阪府大阪市 題： レオカーナ 2 者： 藤井隆之(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： 血液透析患者におけるリン吸着剤の使用と種類による脆弱骨折との関連について 者： 藤井隆之、越坂純也、山内伸章、松永宇広、森本真有、寺崎紀子、田中宏明、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 55 回日本腎臓学会東部学術大会 日： 2025 年 9 月 17 日～ 28 日 所： 神奈川県横浜市 題： 細菌性膣炎が侵入経路と考えられた A 群溶連菌感染後糸球体腎炎の一例 者： 重城智也、越坂純也、森本真有、松永宇広、山内伸章、寺崎紀子、田中宏明、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 31 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 日： 2025 年 11 月 22 日～ 23 日 所： 東京都港区 題： NRI-JH による栄養評価は腹膜透析患者の初回腹膜炎発症を予測する 者： 藤井隆之、寺崎紀子、松永宇広、越坂純也、山内伸章、森本真有、田中宏明、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回千葉県透析研究会 日： 2025 年 12 月 7 日 所： 千葉県千葉市 題： NRI-JH による栄養評価は腹膜透析患者の初回腹膜炎発症を予測する 者： 藤井隆之、寺崎紀子、松永宇広、越坂純也、山内伸章、森本真有、田中宏明、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回千葉県透析研究会 日： 2025 年 12 月 7 日 所： 千葉県千葉市 題： 透析医療の過去・現在・未来 者： 藤井隆之(座長)、花房規男(演者)

学	会	名：	第 41 回日本栄養治療学会学術集会
開	催	日：	2026 年 2 月 13 日～ 14 日
場		所：	神奈川県横浜市
演		題：	血液透析患者の NRI-JH による栄養評価と脆弱骨折との関連について の後ろ向き研究
演		者：	藤井隆之、金崎葵、富田歩子、松田裕美、戸巻祥枝、増田大輝、 宮森陽子

『講義』

講	義	名：	医療安全講演会
開	催	日：	2025 年 5 月 9 日
場		所：	千葉県佐倉市
演		題：	薬剤による医療事故を防ぐには
演		者：	藤井隆之

講	義	名：	NST 勉強会
開	催	日：	2025 年 9 月 9 日
場		所：	千葉県佐倉市
演		題：	保存期慢性腎臓病(CKD)と栄養について
演		者：	藤井隆之

講	義	名：	腎・泌尿器 成人看護学
開	催	日：	2025 年 11 月 16 日、23 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	腎疾患の臨床
演		者：	鈴木理志

『講演』

講	演	会	名：	CKD 治療を考える会
開		催	日：	2025 年 4 月 11 日
場			所：	千葉県佐倉市
講	演		者：	田中宏明(ディスカッサント)

講	演	会	名：	多職種による CKD-MBD カンファレンス～東葛エリアから発信する～
開		催	日：	2025 年 4 月 19 日
場			所：	千葉県柏市
講	演		名：	これからのリン治療に期待すること～フォゼベルの治験結果と当院で の現状を踏まえて～
講	演		者：	藤井隆之

講	演	会	名：	千葉県北総エリア 透析アミロイド WEB セミナー
開		催	日：	2025 年 4 月 24 日
場			所：	千葉県千葉市
講	演		名：	アミロイドーシス診療ガイドラインとリクセルの保険請求について
講	演		者：	藤井隆之(座長)、佐藤純彦(演者)

講演会	名：	多職種で挑む CKD 診療と透析予防
開催	日：	2025 年 5 月 23 日
会場	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	多職種で挑む CKD 診療と透析予防 ～多職種介入による効果も交えて～
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	これからの CKD 診療を考える会 ～専門医からかかりつけ医の先生方へ～
開催	日：	2025 年 5 月 30 日
会場	所：	Web
講演	名：	CKD 診療の New Standard ～将来の医療の為に今、フォシーガと多職種病診連携で出来ること～
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	地域で取り組む CKD マネジメント
開催	日：	2025 年 6 月 10 日
会場	所：	Web
講演	名：	CKD 診療における多職種介入の重要性 ～当院での取り組みを含めて～
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	CKD 治療講演会
開催	日：	2025 年 6 月 26 日
会場	所：	Web
講演	名：	生涯透析阻止に向けた CKD 診療を考える ～早期治療介入ができる今～
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	第 90 回佐倉市薬剤師セミナー
開催	日：	2025 年 7 月 2 日
会場	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	CKD-MBD の最近の話題
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	印旛郡市 CKD 臨床懇話会
開催	日：	2025 年 7 月 10 日
会場	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	多職種で挑む CKD 診療～ケレンディアの使用経験を踏まえて～
講演	者：	藤井隆之
講演会	名：	印旛郡市 CKD 臨床懇話会
開催	日：	2025 年 7 月 10 日
会場	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	糖尿病関連腎臓病治療の新たなる展開～ MRA への期待～
講演	者：	藤井隆之(座長)、阿部雅紀(演者)
講演会	名：	ANCA 関連血管炎 医療連携 seminar
開催	日：	2025 年 7 月 11 日
会場	所：	千葉県佐倉市
講演	名：	ANCA 関連血管炎の治療薬としてのアバコパンの位置づけ
講演	者：	藤井隆之(座長)、金子開知(演者)

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	ARNI Web Symposium ～ CKD 進行抑制を考える～ 2025 年 8 月 19 日 千葉県千葉市 CKD 患者の腎保護を考慮した高血圧治療戦略を考える 藤井隆之
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	ループス腎炎の新たな治療選択肢～他科連携の重要性～ 2025 年 8 月 25 日 千葉県成田市 ループス腎炎診療とルプキネスへの期待(ディスカッション) 藤井隆之(座長)
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	地域で考える腎・代謝連関 2025 年 9 月 11 日 千葉県佐倉市 当院における CKD 医療連携の取り組み～薬物治療も含めて～ 藤井隆之
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	第 8 回腎疾患と代謝疾患を考える会 2025 年 9 月 19 日 千葉県成田市 高齢者 IgA 腎症の治療成績について ～当院での 40 年の治療経過から振り返る～ 藤井隆之
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	千葉 IMAGINE Project 講演会～地域で取り組む CKD ～ 2025 年 10 月 1 日 千葉県千葉市 生涯透析阻止に向けた CKD 診療を考える～早期介入の重要性～ 藤井隆之
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	DUAL Seminar in INBA 2025 年 10 月 10 日 千葉県佐倉市 ツイミーク投与が適した 2 型糖尿病患者像を再考する 藤井隆之(ディスカッサント)
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	千葉県腎疾患対策 Web 講演会 2025 2025 年 10 月 14 日 千葉県千葉市 アンケートから得られた腎臓病療養指導士の課題 藤井隆之(司会)
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 	名： 日： 所： 名： 者：	ファビハルタ「C3 腎症」適応追加記念講演会 in 千葉 2025 年 10 月 16 日 千葉県千葉市 C3 腎症の診断と治療アプローチについて考える 藤井隆之(ディスカッサント)

講 開 場 講	演 催	会 名	名： CKD 治療の最前線 日： 2025 年 10 月 23 日 所： 千葉県千葉市
講	演	名	生涯透析阻止に向けた CKD 診療を考える ～早期治療介入ができる今～
講	演	者	藤井隆之
講 開 場 講	演 催	会 名	名： Incretin Online Seminar 日： 2025 年 10 月 24 日 所： 千葉県佐倉市
講	演	名	インクレチン受容体作動薬をより効果的に使用するための方策
講	演	者	藤井隆之(座長)、岡島史宣(演者)
講 開 場 講	演 催	会 名	名： 千葉県透析合併症カンファレンス in ちば 日： 2025 年 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市
講	演	名	チーム医療でリン管理を考える
講	演	者	藤井隆之(司会)
講 開 場 講	演 催	会 名	名： 慢性腎臓病予防講演会 日： 2025 年 11 月 7 日 所： 千葉県佐倉市
講	演	名	あなたの腎臓、大丈夫？～今すぐ始める CKD 予防～
講	演	者	藤井隆之
講 開 場 講	演 催	会 名	名： 第 3 回 CKD 教育入院セミナー 日： 2025 年 11 月 19 日 所： Web
講	演	名	CKD 教育入院、地味に効く
講	演	者	鈴木理志
講 開 場 講	演 催	会 名	名： CKD 治療講演会 日： 2025 年 12 月 3 日 所： 千葉県八街市
講	演	名	生涯透析阻止に向けた CKD 治療を考える ～早期治療介入ができる今～
講	演	者	藤井隆之
講 開 場 講	演 催	会 名	名： 人生 100 年時代の CKD 治療～腎臓を守るために今できること～ 日： 2025 年 12 月 9 日 所： 千葉県成田市
講	演	名	CKD 診療のトレンド～当院での取り組み～
講	演	者	藤井隆之
講 開 場 講	演 催	会 名	名： 人生 100 年時代の CKD 治療～腎臓を守るために今できること～ 日： 2025 年 12 月 9 日 所： Web
講	演	名	CKD 診断のトレンド～当院の取り組みから～
講	演	者	田中宏明

講演 開場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	第5回 Sakura CKD Joint Conference 2026年1月15日 千葉県佐倉市 ネフロンを守れ！ 藤井隆之(座長)、大橋靖(演者)
講演 開場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	第5回 Sakura CKD Joint Conference 2026年1月15日 千葉県佐倉市 感染関連糸球体腎炎のアップデート 越坂純也
講演 開場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	ケレンディア WEBカンファレンス 2026年2月3日 Web DKD、専門医はどのように診ている～finerenoneの使用経験も踏まえて～ 藤井隆之(座長)、佐藤英一(演者)
講演 開場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	高血圧管理・治療ガイドライン2025を診療に活かす 2026年3月25日 千葉県佐倉市 JSH2025 腎臓内科の立場から 藤井隆之

【消化器内科】

『講演』

講演 開場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	『内視鏡で守る健康～検診と二次精密検査の本当の役割』 2025年9月13日 千葉県佐倉市 内視鏡で守る健康～検診と二次精密検査の本当の役割～ 胃がん・大腸がん 齊藤将喜
----------------	------------------	--	---

【循環器科】

「国内学会」

学	会	名：	第33回日本心血管インターベンション治療学会；CVIT 2025 学術集会
開	催	日：	2025年7月17日～19日
場		所：	大阪府大阪市
演		題：	A lotus root-like appearance in diffuse long segment of right coronary artery
演		者：	Toshinori Ko, Kenichi Tokuyama, Yusuke Hosokawa

「講義」

講	義	名：	成人看護 循環器全般～心血管解剖、心電図（虚血・不整脈）、血圧、動脈・静脈疾患、心不全、虚血性心疾患～
開	催	日：	2025年5月～6月
場		所：	千葉県千葉市
演		者：	徳山権一
講	義	名：	GLP-1 Update Seminar
開	催	日：	2025年6月3日
場		所：	Web
演		題：	GLP-1 受動体作動薬をより効果的に使用するための方策
演		者：	徳山権一（座長）
講	義	名：	マンジャロ Online Seminar
開	催	日：	2026年2月27日
場		所：	Web
演		題：	循環器疾患合併糖尿病患者における早期治療強化の重要性 － GIP/GLP-1 受容体作動薬の立ち位置を練る －
演		者：	徳山権一（座長）

【緩和医療科】

『論文』

雑	誌	名：	Journal of Palliative Medicine
題		名：	Gefapixant Citrate, a Selective P2X3 Receptor Antagonist, May Improve Cancer-Related Hypergeusia: A Case Report
著		者：	Murakami S, Yamagishi K, Kitani A, Ueta T, Matsuura Y, Kubota T, Uezono Y.
巻、ページ、年度：			2026 Feb 11:10966218251385732.

『国内学会』

学	会	名：	第7回日本緩和医療学会関東・甲信越支部学術集会
開	催	日：	2025年10月18日
場		所：	千葉県千葉市
演		者：	村上 敏史(座長)

『講義』

講	義	名：	緩和ケア研修会
開	催	日：	2025年8月30日
場		所：	東京都港区
演		題：	コミュニケーション、がん疼痛事例検討、療養場所の選択と地域連携 (グループワーク協力)
演		者：	村上敏史

講	義	名：	緩和ケア研修会
開	催	日：	2025年11月23日
場		所：	千葉県木更津市
演		題：	がん患者等の療養場所の選択、地域における連携、在宅における緩和 ケアの実際
演		者：	村上敏史

講	義	名：	緩和ケア研修会
開	催	日：	2025年12月6日
場		所：	千葉県市原市
演		題：	e-learning の復習・質問(ファシリテーター)
演		者：	村上敏史

講	義	名：	緩和ケア研修会
開	催	日：	2026年2月21日
場		所：	東京都狛江市
演		題：	コミュニケーション、がん疼痛事例検討、療養場所の選択と地域連携 (グループワーク協力)
演		者：	村上敏史

『講演』

講	演	会	名：	緩和ケア連携 Web セミナー in 北総
開		催	日：	2025年7月18日
場			所：	千葉県印西市
講	演		名：	Closing Remarks
講	演		者：	村上敏史

講	演	会	名：	令和7年度成田赤十字病院 緩和ケア地域連携カンファレンス
開		催	日：	2026年1月15日
場			所：	千葉県成田市
講	演		名：	地域における PCU の役割と現状
講	演		者：	村上敏史

講演会 開催 場 講	名： 緩和ケア連携 Web セミナー in 佐倉 日： 2026 年 3 月 9 日 所： 千葉県佐倉市 者： 村上敏史(座長)
講演会 開催 場 講	名： 第 17 回印旛薬剤師フォーラム 日： 2026 年 3 月 16 日 所： 千葉県佐倉市 名： “副作用”と“腎機能”から読み解く緩和薬物療法 ～ヒドロモルフォンとガバペンチノイド、薬剤師がチェックすべき評価の視点～ 者： 村上敏史

『その他』

そ の 日 氏	他： 千葉県がん診療連携協議会 緩和医療専門部会委員 付： 2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日 名： 村上敏史
そ の 氏	他： 日本緩和医療学会 専門医症例報告書事前審査委員 名： 村上敏史

【乳腺外科】

『国内学会』

学 開 場 演 演	名： 第 47 回日本癌局所療法研究会 日： 2025 年 5 月 9 日 所： 千葉県千葉市 題： 脱毛を拒否した局所進行 Stage4 Triple negative 乳癌に対し局所切除と S-1 が奏功した 1 例 者： 佐塚哲太郎
学 開 場 演 演	名： 第 30 回日本緩和医療学会学術大会 日： 2025 年 7 月 4 日～ 5 日 所： 福岡県福岡市 題： 口腔内腫瘍に対して、啞え型スパーサーを自作し定位照射を行った 1 症例 者： 川上浩幸、高橋光一郎、木谷哲、村上敏史、金子貴之、戸塚大輔、吉田奈留美、神尾眞由美
学 開 場 演 演	名： 第 33 回日本乳癌学会学術総会 日： 2025 年 7 月 10 日～ 12 日 所： 東京都新宿区 題： 術前化学療法を施行した HR 陽性・HER2 陰性乳癌の効果判定および予後予測における CPS+EG スコアの有用性 者： 川島太一、木谷哲、宮内充、有田誠司、笹井大督、富田歩子

学 開 場 演 演	会 催	名： 第33回 日本乳癌学会学術総会 日： 2025年7月10日～12日 所： 東京都新宿区 題： 酸素投与を要する乳癌術後15年目の多発肺転移に対して内分泌療法とCDK4/6阻害薬の併用療法が奏功した1例 者： 佐塚哲太郎
学 開 場 演 演	会 催	名： 日本放射線腫瘍学会第38回学術大会 日： 2025年11月27日～29日 所： 東京都千代田区 題： 遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対し、乳房全切除後放射線治療を行った1例 者： 木谷哲、戸塚大輔、金子貴之、神尾眞由美、川上浩幸

『講義』

講 開 場 演 演	義 催	名： がん教育(東京学館高等学校) 日： 2025年10月16日 所： 千葉県印旛郡酒々井町 題： がんのはなし 者： 木谷哲、野間香奈子
-----------------------	--------	---

『講演』

講 開 場 講	演 催 演	会 名： Breast Cancer Web Conference 日： 2025年10月20日 所： Web 者： 木谷哲(座長)
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： あなたを守るがん検診講演会 日： 2025年10月25日 所： 千葉県佐倉市 名： あなたを守るがん検診 者： 木谷哲
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： 中外eセミナー HER2 Insight in CHIBA 日： 2026年1月20日 所： Web 名： フェスゴ導入による医療現場へのインパクト 者： 川島太一(座長)、中島裕理
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名： がん診療医のための緩和ケアセミナー 日： 2026年3月27日 所： Web 名： がん治療と緩和ケア 者： 木谷哲

【外科】

『論文』

雑誌 名： 外科 南江堂
 題 名： 腹直筋に発生した顆粒細胞腫の1例
 著 者： 重城智也、小池直人、大島祐二、有田誠司、武内俊章、笹井大督
 巻、ページ、年度： 88 (3) 227-232, 2026

『国内学会』

学会 名： 第7回千葉肝胆膵サージカルフォーラム
 開催 日： 2025年5月31日
 会場 所： 千葉県千葉市
 演題 題： 悪性胆道狭窄を否定できず肝外胆管切除を伴う肝左葉切除を施行した肝内良性胆道狭窄の一例
 演者 者： 小池直人、大島祐二、武内俊章、山本真梨子、佐々木拓馬、鈴木貴友、有田誠司、笹井大督

学会 名： 第61回日本胆道学会学術集会
 開催 日： 2025年10月2日
 会場 所： 愛知県名古屋市
 演題 題： 手術リスクの高い肝門部領域胆管癌患者に対しリンパ節郭清を伴う肝外胆管切除を行った経験
 演者 者： 小池直人、大島祐二、笹井大督

学会 名： 第21回がんワクチン療法研究会学術集会
 開催 日： 2025年11月15日
 会場 所： 東京都新宿区
 演題 題： 免疫チェックポイント阻害剤が著効した悪性腫瘍の2例
 演者 者： 小池直人、大島祐二、武内俊章、佐々木拓馬、鈴木貴友、山本真梨子、有田誠司、笹井大督

学会 名： 第87回日本臨床外科学会学術集会
 開催 日： 2025年11月21日
 会場 所： 東京都新宿区
 演題 題： 増大経過を示した脾腫瘍に対する腹腔鏡下脾臓摘出術後に門脈血栓を来した1例
 演者 者： 佐々木拓馬、大島祐二、鈴木貴友、山本真梨子、武内俊章、有田誠司、小池直人

学会 名： 第30回千葉内視鏡外科研究会
 開催 日： 2026年2月21日
 会場 所： 千葉県千葉市
 演題 題： 腹腔鏡下に加療した盲腸後窩ヘルニアの1例
 演者 者： 鈴木貴友、佐々木拓馬、山本真梨子、大島祐二、小池直人

学会 名： 第20回千葉大腸疾患研究会
 開催 日： 2026年2月28日
 会場 所： 千葉県
 演題 題： 外来治療を受ける患者のセルフケア支援について
 演者 者： 小池直人(座長)、伊藤直美(演者)

学	会	名：	第 104 回千葉県外科医会研究会(優秀演題賞)
開	催	日：	2026 年 3 月 14 日
場		所：	千葉県
演		題：	大腸穿孔術後の炎症反応再燃に対しステロイドパルス療法が著効したバリウム性腹膜炎の 1 例
演		者：	鈴木大介、小池直人、大島祐二、武内俊章、山本真梨子、佐々木拓馬、鈴木貴友、有田誠司

『講演』

講	演	会	名：	聖隷佐倉市民病院健診センター 20 周年記念講演
開		催	日：	2025 年 11 月 22 日
場			所：	千葉県佐倉市
講	演		名：	健診センター 20 年の歩みと今後の展望
講	演		者：	有田誠司

『その他』

そ	の	他：	第 20 回千葉大腸疾患研究会
日		付：	2026 年 2 月 28 日
場		所：	千葉県
氏		名：	小池直人(当番世話人)

【呼吸器外科】

「国内学会」

学	会	名：	第 66 回日本肺癌学会学術集会
開	催	日：	2025 年 11 月 6 日～ 8 日
場		所：	東京都
演		題：	胃癌の術前 CT 検査で特徴の異なる多発肺結節を認めた低肺機能患者の一例
演		者：	廣橋健太郎、眞崎義隆

学	会	名：	第 78 回日本胸部外科学会定期学術集会
開	催	日：	2025 年 10 月 23 日～ 25 日
場		所：	大阪府
演		題：	肺底動脈大動脈起始症と部分肺静脈還流異常を合併した右肺癌に対して胸腔鏡下右下葉切除術を施行した 1 例
演		者：	平井有紀、穴山貴嗣、廣橋健太郎、小野里優希、鎌田稔子、和田啓伸、吉野一郎、吉田成利

【整形外科】

「論文」

- | | | |
|------------|-----|--|
| 雑誌
題 | 名 : | Spine Surg Relat Res |
| | 名 : | Identifying Anatomical Predictors of Median Arcuate Ligament Overlap to Guide Selective Use of Contrast-Enhanced Computed Tomography in Adult Spinal Deformity Surgery |
| 著 | 者 : | Iijima Y, Kotani T, Sakuma T, Kishida S, Ise S, Inoue S, Shimizu F, Setojima Y, Ohyama S, Iwata S, Mizutani M, Sakashita K, Sunami T, Okuwaki S, Ogata Y, Shiga Y, Minami S, Ohtori S. |
| 巻、ページ、年度 : | | 10 (2) :253-262. 2025 |
-
- | | | |
|------------|-----|--|
| 雑誌
題 | 名 : | Spine Surg Relat Res |
| | 名 : | Impact of Baseline HRQOL on Brace-Related Stress in Female Patients with Adolescent Idiopathic Scoliosis: A Longitudinal Retrospective Study |
| 著 | 者 : | Asada T, Kotani T, Sakuma T, Iijima Y, Sakashita K, Ogata Y, Minami S, Ohtori S, Koda M, Yamazaki M. |
| 巻、ページ、年度 : | | 9 (6) :682-689. 2025 |
-
- | | | |
|------------|-----|--|
| 雑誌
題 | 名 : | Cureus |
| | 名 : | Comparison of Three Evaluation Methods for the Lumbar Intervertebral Disc Vacuum Phenomenon in Predicting Postoperative Residual Lower Back Pain |
| 著 | 者 : | Ohayama S, Aoki Y, Inoue M, Sato Y, Sato M, Wakita H, Yoh S, Takahashi H, Nakajima A, Kotani T, Yawara E, Orita S, Inage K, Shiga Y, Nakagawa K, Ohtori S. |
| 巻、ページ、年度 : | | 17 (9) :e93408. 2025 |
-
- | | | |
|------------|-----|---|
| 雑誌
題 | 名 : | Spine Surg Relat Res |
| | 名 : | Skeletal Maturity, Brace Compliance, and In-Brace Correction Rate Are Important Factors Associated with Cobb Angle Progression after Brace Treatment in Patients with Adolescent Idiopathic Scoliosis |
| 著 | 者 : | Sakashita K, Asada T, Kotani T, Sakuma T, Iijima Y, Ogata Y, Okuwaki S, Ohyama S, Mizutani M, Akazawa T, Minami S, Ohtori S, Koda M, Yamazaki M. |
| 巻、ページ、年度 : | | 9 (5) :539-545. 2025 |
-
- | | | |
|------------|-----|--|
| 雑誌
題 | 名 : | Eur J Trauma Emerg Surg |
| | 名 : | Comparison of the O-arm-based navigation system with conventional fluoroscopy for percutaneous screw fixation in patients with fragility fractures of the pelvis |
| 著 | 者 : | Mizutani M, Kotani T, Ogawa R, Yano S, Kishida S, Okuwaki S, Ohyama S, Ogata Y, Iijima Y, Sakuma T, Orita S, Inage K, Shiga Y, Minami S, Ohtori S. |
| 巻、ページ、年度 : | | 51 (1) :221. 2025 |

- 雑誌名 : J Orthop Sci
 題名 : Optimizing S1 nerve root block using three-dimensional computed tomography imaging: Identifying the ideal fluoroscopic angle and predicting S1 neural foramen position
 著者 : Suzuki N, Kotani T, Ohyama S, Sakashita K, Okuwaki S, Iwata S, Iijima Y, Mizutani M, Sakuma T, Orita S, Inage K, Shiga Y, Inoue M, Minami S, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 30 (6) :1005-1012. 2025
- 雑誌名 : Eur Spine J
 題名 : Machine learning algorithms for predicting future curve using first and second visit data in female adolescent idiopathic scoliosis patients
 著者 : Ohyama S, Maki S, Kotani T, Ogata Y, Sakuma T, Iijima Y, Akazawa T, Inage K, Shiga Y, Inoue M, Arai T, Toshi N, Tokeshi S, Okuyama K, Tashiro S, Suzuki N, Eguchi Y, Orita S, Minami S, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 34 (9) :3693-3701. 2025
- 雑誌名 : Spine J
 題名 : Timeline of curve progression around menarche in small adolescent idiopathic scoliosis curves without influence of braces: a single-center longitudinal cohort study of 1
 著者 : Ogata Y, Kotani T, Asada T, Ohyama S, Okuwaki S, Iijima Y, Sakuma T, Ohtori S, Yamazaki M.
 巻、ページ、年度 : 25 (8) :1708-1718. 2025
- 雑誌名 : J Orthop Sci
 題名 : Analysis of orthopedic surgery-related incidents in operating rooms using a nationwide incident reporting database
 著者 : Nakano S, Kotani T, Nakajima A, Sonobe M, Inakuma K, Ohtori S, Nakagawa K.
 巻、ページ、年度 : 30 (4) :711-717. 2025
- 雑誌名 : J Orthop Sci
 題名 : Factors influencing the achievement of early surgery in proximal femoral fractures under a Japanese incentive policy
 著者 : Yamada Y, Kotani T, Kishida S, Ogata Y, Okuwaki S, Ohyama S, Iwata S, Iijima Y, Ise S, Sakuma T, Ueno K, Kajiwara D, Moriyasu R, Nakajima T, Minami S, Hashimoto E, Ochiai N, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 30 (3) :518-522. 2025
- 雑誌名 : Spine Surgery and Related Research
 題名 : Identifying Anatomical Predictors of Median Arcuate Ligament Overlap to Guide Selective Use of Contrast-Enhanced Computed Tomography in Adult Spinal Deformity Surgery
 著者 : Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tsutomu Akazawa, Shunji Kishida, Keisuke Ueno, Shohei Ise, Sho Inoue, Yusuke Setojima, Fumiya Shimizu, Shuhei Ohyama, Shuhei Iwata, Masaya Mizutani, Kotaro Sakashita, Takahiro Sunami, Shun Okuwaki, Yosuke Ogata, Yasuhiro Shiga, Shohei Minami, Seiji Ohtori
 巻、ページ、年度 : 10 (2) :253-262, 2025

雑誌 名： 東京都予防医学協会年報 2026 年版
 題 名： 脊柱側弯症検診の実施成績
 著 者： 南昌平
 巻、ページ、年度： 55、33-38、2025

雑誌 名： 千葉県学校保健集団検診報告書
 題 名： 脊柱側弯症検診
 著 者： 南昌平
 巻、ページ、年度： 令和 6 年度,7-8,2025

雑誌 名： ミレニアム 千葉県医師会
 題 名： ウォーキングのすすめ
 著 者： 南 昌平
 巻、ページ、年度： 94、8、2025

「国際学会」

学 会 名： Scoliosis Research Society 60th Annual Meeting
 開 催 日： 2025 年 9 月 16 日～ 20 日
 場 所： Charlotte, North Carolina, USA
 演 題： Pre-Bracing Health-Related Quality of Life Predicts Brace-Related Psychological Stress in Adolescents with Idiopathic Scoliosis
 演 者： T Asada, T Kotani, T Sakuma, Y Iijima, K Sakashita, Y Ogata, T Akazawa, S Minami, S Ohtori

学 会 名： SRS Asia Pacific Meeting
 開 催 日： 2026 年 2 月 6 日～ 7 日
 場 所： 福岡県福岡市
 演 題： Comparative study for surgical outcomes between young and middle-aged patients with adult idiopathic scoliosis
 演 者： Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami, Seiji Ohtori

学 会 名： SRS Asia Pacific Meeting
 開 催 日： 2026 年 2 月 6 日～ 7 日
 場 所： 福岡県福岡市
 演 題： Risk factors for Allogeneic Red Blood Cell Transfusion in Pediatric Spinal Deformity Surgery
 演 者： Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami, Seiji Ohtori

「国内学会」

学 会 名： 第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会
 開 催 日： 2025 年 4 月 17 日～ 19 日
 場 所： 千葉県千葉市
 演 題： 一般口演 39「成人脊柱変形・アライメント」
 演 者： 小谷俊明(座長)

学 開 場 演 演	会 催	名： 第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 日： 2025 年 4 月 17 日～ 19 日 所： 千葉県千葉市 題： 成人脊柱変形手術における重篤な内臓合併症 —急性腹腔動脈圧迫症候群の予防と対策— 者： 小谷俊明、佐久間毅、飯島靖、井上翔、水谷雅哉、南昌平、大鳥精司
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 日： 2025 年 4 月 17 日～ 19 日 所： 千葉県千葉市 題： 成人脊柱変形患者における正中弓状靱帯 overlap に関する検討 者： 飯島靖、小谷俊明、佐久間毅、赤澤努、南昌平、大鳥精司
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 54 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 日： 2025 年 4 月 17 日～ 19 日 所： 千葉県千葉市 題： 頸椎後縦靱帯骨歌唱手術後の膀胱機能回復に関する予後因子 者： 瀬戸嶋佑輔
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 98 回日本整形外科学会学術総会 日： 2025 年 5 月 22 日～ 25 日 所： 東京都千代田区 題： シンポジウム「側彎症の診断治療における AI(Artificial Intelligence)の役割」 者： 小谷俊明(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 98 回日本整形外科学会学術総会 日： 2025 年 5 月 22 日～ 25 日 所： 東京都千代田区 題： Risk Factors for Median Arcuate Ligament Overlap in Adult Spinal Deformity Patients 者： Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tsutomu Akazawa, Shohei Minami, Seiji Ohtori
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 98 回日本整形外科学会学術総会 日： 2025 年 5 月 23 日 所： 東京都千代田区 題： 骨粗鬆症を伴う大腿骨近位部骨折術後の地域連携 者： 岸田俊二(演者・座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 38 回日本自己血輸血・周術期輸血学会学術総会 日： 2025 年 6 月 13 日 所： 愛知県名古屋市 題： 脊柱変形手術に対する自己血輸血の有用性 者： 小谷俊明(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 38 回日本自己血輸血・周術期輸血学会学術総会 日： 2025 年 6 月 13 日 所： 愛知県名古屋市 題： 脊柱変形手術に対する自己血輸血の有用性 者： 小谷俊明、南昌平

学 開 場 演 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： 一般口演 17「骨粗鬆症リエゾンサービス 2」 者： 小谷俊明(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日～ 14 日 所： 千葉県千葉市 題： カプランマイヤー曲線を用いた大腿骨近位部骨折患者における緊急加算の効果解析 者： 小谷俊明、永木文子、岸田俊二、山田有徳、飯島靖、佐久間毅、加藤木丈英、伊勢昇平、水谷雅哉、稲毛一秀
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 27 回日本骨粗鬆症学会 日： 2025 年 9 月 12 日 所： 千葉県千葉市 題： 千葉県印旛医療件クリニックにおける大腿骨近位部骨折後の骨粗鬆症治療アンケート調査 者： 岸田俊二、小谷俊明、飯嶋靖、藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 52 回日本股関節学会学術集会 日： 2025 年 10 月 24 日 所： 山口県下関市 題： 大腿骨近位部骨折患者における術後 1 年骨粗鬆症治療継続率の検討 者： 岸田俊二、横山雄大、田中遼成
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側彎症学会学術集会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： 山田井上メモリアルレクチャー 者： 小谷俊明(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側彎症学会学術集会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： 海外招待講演 2 者： 小谷俊明(座長)
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 59 回日本側彎症学会学術集会 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： Clinical Relevance of Low BMI on Predicting Curve Progression For Female Adolescent Idiopathic Scoliosis with Risser ≥ 3 者： 瀬戸嶋佑輔
学 開 場 演 演	会 催	名： 第 12 回日本脊椎前方側方進入手術学会(JALAS) 日： 2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日 所： 千葉県千葉市 題： 横隔膜を攻略！胸腰椎前方アプローチで迷わないための戦略 者： 小谷俊明、佐久間毅、飯島靖、井上翔、瀬戸嶋佑輔、清水文也、南昌平

学	会	名：	第 59 回日本側彎症学会学術集会 (JSS) 第 15 回日本成人脊柱変形学会 (JSASD)
開	催	日：	2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	成人期における思春期特発性側弯症の変性変化 その画像的特徴と予測因子
演		者：	小谷俊明、坂下孝太郎、岩田秀平、水谷雅哉、佐久間毅、飯島靖、 奥脇駿、大山秀平、小方陽介、南昌平、大鳥精司
学	会	名：	Spine Week Japan 2025
開	催	日：	2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	Comparative study for surgical outcomes between young and middle-aged patients with adult idiopathic scoliosis
演		者：	Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tsutomu Akazawa, Sho Inoue, Yusuke Setojima, Fumiya Shimizu, Shohei Minami, Seiji Ohtori
学	会	名：	Spine Week Japan 2025
開	催	日：	2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	Risk factors for Allogeneic Red Blood Cell Transfusion in Pediatric Spinal Deformity Surgery
演		者：	Yasushi Iijima, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tsutomu Akazawa, Sho Inoue, Yusuke Setojima, Fumiya Shimizu, Shohei Minami, Seiji Ohtori
学	会	名：	第 15 回最小侵襲脊椎治療学会
開	催	日：	2025 年 10 月 30 日～ 11 月 1 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	腰椎椎間板ヘルニアに対するヘルニコア治療のための L5/S1 椎間板穿刺角度の 3DCT による解析
演		者：	清水文也、小谷俊明、佐久間毅、飯島靖、井上翔、水谷雅哉、 南昌平
学	会	名：	第 66 回関東整形災害外科学会
開	催	日：	2026 年 3 月 20 日～ 21 日
場		所：	栃木県宇都宮市
演		題：	特発性側弯症に対する治療体系の変遷－装具治療と手術治療の過去・ 現在・未来－
演		者：	飯島靖

「講義」

講	義	名：	千葉大学医学部ユニット講義
開	催	日：	2025 年 12 月 23 日
場		所：	千葉県千葉市
演		題：	側弯症について
演		者：	小谷俊明

「講演」

講演会	名：	第 54 回日本脊椎脊髄病学会 ランチョンセミナー
開催	日：	2025 年 4 月 17 日
会場	所：	千葉県千葉市
講演	名：	思春期特発性側弯症の保存療法と Shilla 手術
		—エビデンスに基づく経過観察，装具治療と Shilla 手術の現状—
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	アムジェン Web 講演会
開催	日：	2025 年 5 月 27 日
会場	所：	Web
講演	名：	骨粗鬆症に対する注射製剤を用いた地域連携
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	Osteoporosis liaison seminar
開催	日：	2025 年 5 月 29 日
会場	所：	千葉県浦安市
講演	名：	骨粗鬆症に対する病診連携と多職種連携
		～リエゾンサービスの取り組み～
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	北海道科学大学フォローアップ講座
開催	日：	2025 年 6 月 17 日
会場	所：	北海道札幌市
講演	名：	骨粗鬆症について
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	旭化成社内研修セミナー
開催	日：	2025 年 9 月 3 日
会場	所：	千葉県千葉市
講演	名：	骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略と地域連携
講演	者：	飯島靖
講演会	名：	イベニティ Web セミナー
開催	日：	2025 年 9 月 26 日
会場	所：	Web
講演	名：	骨粗鬆症に対する注射製剤を用いた地域多職種連携
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	整形外科疾患病診連携セミナー in 志太榛原
開催	日：	2025 年 11 月 5 日
会場	所：	静岡県藤枝市
講演	名：	骨粗鬆症に対する病診連携と多職種連携
		～リエゾンサービスの取り組み～
講演	者：	小谷俊明
講演会	名：	ケアネット社講演
開催	日：	2026 年 3 月 2 日
会場	所：	Web
講演	名：	骨粗鬆症性椎体骨折に対する連携の力
		～多職種・病診連携によるトータルマネジメントの実際～
講演	者：	小谷俊明

講 演 会	名：	ほねぶとプロジェクト 骨粗鬆症多職種地域連携の会
開 催	日：	2026年3月4日
場 所	所：	茨城県つくば市
講 演	名：	骨粗鬆症に対する多職種連携と病診連携 ～リエゾンサービスの取り組み～
講 演	者：	小谷俊明

「その他」

そ の	他：	第17回 日本脊椎脊髄病学会アジアトラベリングフェロー
日	付：	2025年9月21日～28日、10月5日～11日
場	所：	インド コインバトール、インドネシア スラバヤ
題	名：	Pathophysiology and Management of Acute Celiac Artery Compression Syndrome in Adult Spinal Deformity Surgery
氏	名：	Yasushi Iijima

【小児科】

『論文』

雑 誌	名：	小児科
題	名：	学校検尿での尿糖陽性を契機に診断した TINU 症候群の女児例
著	者：	石倉麻里奈、鈴木繁、川村研
巻、ページ、年度：		66巻6月号、622-626、2025

『国内学会』

学 会	名：	第233回日本小児科学会千葉地方会
開 催	日：	2026年2月15日
場 所	所：	千葉県千葉市
演 題	題：	低身長精査時に見つかった頭蓋内病変
演 者	者：	田中野々花、鈴木繁、石倉麻里奈、川村研

『講演』

講 演 会	名：	薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー① in 佐倉
開 催	日：	2025年6月18日
場 所	所：	千葉県佐倉市
講 演	名：	Introduction：佐倉市における災害時の薬剤インフラ
講 演	者：	鈴木繁

講 演 会	名：	防災講話
開 催	日：	2025年10月17日
場 所	所：	千葉県佐倉市
講 演	名：	院内防災設備 災害医療とトリアージ 防災訓練概要
講 演	者：	矢澤勝己、鈴木繁、小川侑男

講 演 会	名：	2025 年度学校検尿結果報告会
開 催	日：	2025 年 11 月 20 日
場 所	所：	千葉県富里市
講 演	名：	学校検尿と検尿異常について
講 演	者：	川村研

『その他』

そ の	他：	DRP 医療情報館 医療コラム
日	付：	2025 年 4 月 9 日
場	所：	Web
題	名	小児の病気 小児インフルエンザウイルス感染症を別の視点から考えよう
氏	名：	鈴木繁

そ の	他：	大塚災害薬事サポーター養成プログラム
日	付：	2025 年 6 月 18 日
場	所：	千葉県佐倉市
氏	名：	鈴木繁(座長)、富田歩子

そ の	他：	DRP 医療情報館 医療コラム
日	付：	2025 年 7 月 4 日
場	所：	Web
題	名：	小児の病気 身長が低いのは病気なの？
氏	名：	鈴木繁

そ の	他：	DIGITaL STaD 健康お役立ち情報
日	付：	2025 年 7 月 17 日
場	所：	Web
題	名：	食物アレルギーは血液検査で診断できる？
氏	名：	鈴木繁

そ の	他：	DIGITaL STaD 健康お役立ち情報
日	付：	2025 年 9 月 11 日
場	所：	Web
題	名：	街路樹はなぜイチョウの木なの？
氏	名：	鈴木繁

そ の	他：	DRP 医療情報館 医療コラム
日	付：	2025 年 10 月 6 日
場	所：	Web
題	名：	小児の病気 おねしょを治そう
氏	名：	鈴木繁

そ の	他：	DRP 医療情報館 医療コラム
日	付：	2026 年 1 月 6 日
場	所：	Web
題	名：	小児の病気 小児ワクチンの意義を再考する
氏	名：	鈴木繁

【泌尿器科】

『論文』

雑誌 名： 泌尿器科学会雑誌
題 名： 尿管坐骨孔ヘルニアを腹腔鏡下にメッシュを使用せず修復した一例
著 者： 石塚直樹、稲原昌彦、鈴木悠太、五十嵐辰男、木藤 宏樹
巻、ページ、年度： Jpn. J. Urol 116 (4) : 114-119, 2025

『国内学会』

学会 名： 第8回日本泌尿器科学会千葉地方会学術集会
開催 日： 2025年11月8日
場 所： 千葉県浦安市
演 題： 原発性尿路上皮癌による自然上部尿溢流の2例
演 者： 杉本龍春

『講演』

講演 会 名： 令和7年度母体保護法指定医講習会
開催 催 日： 2026年2月23日
場 所： 千葉県千葉市
講演 演 名： 千葉県における性感染症 - 過去19年間の動向 -
講演 演 者： 五十嵐辰男

講演 会 名： 第38回ちば思春期研究会(第19回千葉STI研究会共同開催)
開催 催 日： 2026年2月15日
場 所： 千葉県千葉市
講演 演 名： 千葉県性感染症の最新情報
講演 演 者： 五十嵐辰男

【眼科】

『論文』

雑誌 名： International Ophthalmology
題 名： The effect of habitual sitting posture on peripheral retinal alterations
著 者： Izumi Yoshida, Masashi Sakamoto, Satoshi Hirano, Hiroki Nakayama, Chiaki Fujimoto, and Sayaka Kanai
巻、ページ、年度： (2025) 45:446 <https://doi.org/10.1007/s10792-025-03802-0>

【耳鼻咽喉科】

『講義』

講 開 場 演 演	義 催	名：手術室勉強会 日：2025年5月2日 所：千葉県佐倉市 題：20250502 手術室勉強会 鼻手術 者：竹内成夫
講 開 場 演 演	義 催	名：薬剤師勉強会 日：2025年5月20日 所：千葉県佐倉市 題：【耳鼻科医の処方】の仕組み ～抗菌薬、抗ウイルス薬による根治処方から対症処方まで～ 者：竹内成夫
講 開 場 演 演	義 催	名：手術室勉強会 日：2025年12月26日 所：千葉県佐倉市 題：20251226 手術室勉強会 耳手術 者：竹内成夫

『講演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	名：杏林製薬社内向け講演会 日：2025年8月1日 所：千葉県千葉市 名：杏林製薬製品の耳鼻咽喉科領域での役割 者：竹内成夫
-----------------------	----------------------	--

【放射線治療科】

「国内学会」

学	会	名：	第 30 回日本緩和医療学会学術大会
開	催	日：	2025 年 7 月 4 日～ 5 日
場		所：	福岡県福岡市
演		題：	口腔腫瘍に対して、啞え型スパーサーを自作し定位照射を行った 1 症例
演		者：	川上浩幸

「講演」

講	演	会	名：	緩和ケア病棟講習会
開		催	日：	2026 年 2 月 26 日
場			所：	千葉県佐倉市
講	演		名：	緩和ケアと放射線治療－症状緩和へのアプローチ－
講	演		者：	川上浩幸